

肉用牛肥育経営安定特別対策事業(新マルキン事業)の補填金
単価について

【平成30年10・11・12月分】

平成30年10・11・12月に県内の契約生産者が販売した交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱(平成28年3月25日付け27農畜機第5583号)第6の9の補填金単価(確定値)については、下記のとおりです。

なお、平成30年10・11月に販売された交付対象牛に適用する同要綱附則9の精算払の額については、下記の確定値と概算払の補填金単価の差額となります。

記

販売月	肉専用種
平成30年10月確定値 (概算払)	65,600 円 (61,800 円)
11月確定値 (概算払)	26,800 円 (23,400 円)
12月確定値	9,100 円

- 注1: 平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。
- 注2: 平成26年度より、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。
精算払については、四半期の最終月の補填金交付とあわせて行います。
- 注3: 概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より4,000円を控除した額としています。ただし、控除した額が1,000円未満の場合は概算払を行いません。
なお、配合飼料価格安定制度の平成30年度第3四半期の補填状況については、下記のホームページをご参照ください。

一般社団法人全国配合飼料供給安定基金

<http://www.esakikin.or.jp/oshirase20140710.pdf>

一般社団法人全国畜産配合飼料価格安定基金

<http://www.tikusankikin.com/kouhujoukyou26.html>

一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金

http://www.zennikki.or.jp/buz/buz01_01.html

注4: 補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。

注5: 平成26年度より、消費税抜きで算定しています。

注6: 交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記のホームページで公表します。

<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>

連絡先

公益社団法人 福岡県畜産協会

経営指導部基金事業課(担当:森廣)

TEL 092-641-8723 FAX 092-642-1276

(参考1)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成30年12月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,268,967
生産コスト (B)	1,279,144
差額 (C) = (A) - (B)	△ 10,177
補填金単価 (D) = (C) × 0.9	9,100

粗収益 (A) = ① + ②	1,268,967
主産物価格 ① = a × b	1,258,848
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,538
枝肉重量 (kg) b	496
副産物価格 ②	10,119
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,279,144
物財費 ③	1,179,581
もと畜費	818,368
飼料費	285,110
流通飼料費	283,487
麦類	11,897
とうもろこし	11,691
ふすま	11,312
かす類	7,697
配合飼料	196,352
稲わら	23,418
その他	21,120
牧草・放牧・採草費	1,623
敷料費	11,756
光熱水料及び動力費	12,458
その他の諸材料費	161
獣医師料及び医薬品費	10,352
賃借料及び料金	5,100
物件税及び公課諸負担	4,952
建物費	12,467
自動車費	7,043
農機具費	9,854
生産管理費	1,960
労働費 ④	74,960
家族	68,702
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,254,541
支払利子 ⑥	13,768
支払地代 ⑦	542
と畜経費 ⑧	10,293

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考2)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成30年10月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,205,723
生産コスト (B)	1,278,682
差額 (C) = (A) - (B)	△ 72,959
補填金単価 (D) = (C) × 0.9	65,600

粗収益 (A) = ① + ②	1,205,723
主産物価格 ① = a × b	1,195,604
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,396
枝肉重量 (kg) b	499
副産物価格 ②	10,119
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,278,682
物財費 ③	1,178,794
もと畜費	818,368
飼料費	284,549
流通飼料費	282,926
麦類	11,687
とうもろこし	11,679
ふすま	11,238
かす類	7,739
配合飼料	195,925
稲わら	23,628
その他	21,030
牧草・放牧・採草費	1,623
敷料費	11,756
光熱水料及び動力費	12,264
その他の諸材料費	161
獣医師料及び医薬品費	10,352
賃借料及び料金	5,100
物件税及び公課諸負担	4,952
建物費	12,442
自動車費	7,036
農機具費	9,854
生産管理費	1,960
労働費 ④	74,960
家族	68,702
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,253,754
支払利子 ⑥	13,768
支払地代 ⑦	542
と畜経費 ⑧	10,618

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考3)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成30年11月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,249,143
生産コスト (B)	1,278,960
差額 (C) = (A) - (B)	△ 29,817
補填金単価 (D) = (C) × 0.9	26,800

粗収益 (A) = ① + ②	1,249,143
主産物価格 ① = a × b	1,239,024
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,488
枝肉重量 (kg) b	498
副産物価格 ②	10,119
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,278,960
物財費 ③	1,179,210
もと畜費	818,368
飼料費	284,837
流通飼料費	283,214
麦類	11,792
とうもろこし	11,679
ふすま	11,275
かす類	7,722
配合飼料	196,138
稲わら	23,511
その他	21,097
牧草・放牧・採草費	1,623
敷料費	11,756
光熱水料及び動力費	12,373
その他の諸材料費	161
獣医師料及び医薬品費	10,352
賃借料及び料金	5,100
物件税及び公課諸負担	4,952
建物費	12,454
自動車費	7,043
農機具費	9,854
生産管理費	1,960
労働費 ④	74,960
家族	68,702
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,254,170
支払利子 ⑥	13,768
支払地代 ⑦	542
と畜経費 ⑧	10,480

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考4)

主産物価格及びもと畜費の算定

1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

【算定に用いる卸売市場】

東京都中央卸売市場、福岡市中央卸売市場、西宮市食肉センター

2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

鳥取県中央家畜市場、島根中央家畜市場、中央家畜市場（佐賀県）、
宇久小値賀家畜市場、壱岐家畜市場、平戸口中央家畜市場、五島家畜市場、
球磨家畜市場、熊本県家畜市場、豊後豊肥家畜市場、豊後玖珠家畜市場、
都城地域家畜市場、小林地域家畜市場、高千穂家畜市場、
宮崎中央農業協同組合家畜市場、曾於中央家畜市場、肝属中央家畜市場、
種子島中央家畜市場、徳之島中央家畜市場、沖永良部家畜市場、与論家畜市場、
南部家畜市場、宮古家畜市場、黒島家畜市場